

「九州将来ビジョン2030」実現に向けた

10の課題と具体的活動

課題
1



日本を動かすリーディング産業の育成・誘致

①

将来の九州経済を活性化し、GDPの引き上げや所得水準の向上、さらに雇用拡大を図るため、九州の優位性ある資源やデジタル技術を活かして新たな基幹産業を創出する。

具体的活動

- 1 九州の強みを活かした農林水産業・観光産業の活性化
- 2 次世代リーディング産業誘致・産業活性化(航空・宇宙、バイオ、医療・医薬、素材、エネルギー等)
- 3 “グローバル”産業の育成(ローカル産業のグローバル化)
- 4 DXによる産業構造の新構築・最適化(フィジカル&サイバー2階建て産業構造の構築)
- 5 産業の価値創出・生産性向上(生産性革命)

課題
2



カーボンニュートラルを先導するエネルギー環境の整備

① ② ③

持続可能な世界屈指のクリーンエネルギー九州を実現するため、再生可能エネルギーの有効活用やそれに資する資金調達などの体制を整備し需要側を含めた環境先進モデルを構築して経済成長に寄与する。

具体的活動

- 6 水素、電化、メタネーションガス社会への転換
- 7 エネルギーの「3E+S」*を前提としたエネルギーミックス(再エネの主力電源化・原子力の着実な運用)の追求
- 8 脱炭素社会の実現に向けた革新的技術の開発・導入活用
- 9 分散型エネルギー需給モデルの構築
- 10 ESG投資・グリーン調達の拡大に向けた環境整備

*3E+S:エネルギー自給率、経済効率性、環境適合、安全性

課題
3



生産性向上と新たな価値を生み出す九州イノベーションエコシステムの構築

① ②

絶え間なくイノベーションを生み出し、持続的な産業の活性化を図るため、事業会社とベンチャーによる価値共創、産学の融合等により、域内で自律的かつ連続的にイノベーションが生み出されるシステムを構築する。

具体的活動

- 11 持続的な産業活性化に向けた産学連携
- 12 企業内ベンチャー・企業間連携イノベーションの創出を促す環境の整備
- 13 エコシステムの中核となる企業・産業・研究所・大学の集積

課題
4



地理的優位性を活かしたアジアとのシームレス化

① ②

日本の中でアジア諸地域に最も近い九州がビジネスの最適地として世界から選ばれるため、海外とのヒト・モノ・カネ・情報の往来を活発化させるべく、魅力的な国際ビジネス環境の整備に取り組む。

具体的活動

- 14 アジア市場と自由にモノの往来が出来るサプライチェーン構築
- 15 魅力ある投資環境の整備(国際金融センターや外国企業の日本ブランチ誘致等)
- 16 アジア・世界とつながるデジタル環境の整備

課題
5



新たな時代を担う教育・人材育成

① ②

デジタル化やグローバル化が加速する中で、IT人材、グローバル人材を確保するため、国際競争力ある人材育成メニューの充実や、その人材を受け止める組織インフラ・制度の整備に取り組む。

具体的活動

- 17 世界中の優秀な人材の集積地化に向けた教育機関の整備
- 18 次世代や世界で通用する人材を育てる教育プログラムの構築(グローバル・STEAM・ICT・社会課題解決などの人材育成、リカレント教育推進)
- 19 多様な人材の成長を促す人材流動化

ありたい姿

Ⅰ … 新たな時代の成長エンジン

Ⅱ … 心の豊かさを成長につなぐ幸せコミュニティ

Ⅲ … 自立型広域連携アイランド

課題
6



暮らしやすさ(Quality of Life)と新たな価値の創出

Ⅰ Ⅱ

地域の資産(自然や文化など)の恩恵を享受しつつ、イノベーションによって各人が求める働き方や生き方が実現できる地域モデルを創る。

- 具体的活動
- 20 医療及び福祉環境の充実(ヘルステック推進等)
 - 21 MaaSによる地域交通網の最適化
 - 22 自然環境・文化・歴史的価値向上と伝統継承
 - 23 デジタルを活用した働き方のニューノーマル化(リモートワーク、コワーキング、ワーケーション)

課題
7



共助社会を実現するダイバーシティ・インクルージョンコミュニティ形成

Ⅱ

誰もが属性に捉われずチャレンジして活躍できる社会を目指し、多様な価値観を認め、各人の強みを活かし共助共生しながらともに成長できるコミュニティを形成する。

- 具体的活動
- 24 誰もが可能性を最大限発揮できる風土醸成と社会システムの構築(ダイバーシティ経営の推進、次世代層・女性のエンパワーメント等)
 - 25 あらゆる人々の多様性が受容される基礎インフラの整備
 - 26 社会的課題を地域のつながりで解決する(共助)コミュニティの構築
 - 27 外国人との共生に向けたグローバルイズ

課題
8



「成長エンジン」と「幸せコミュニティ」を支えるインフラ整備

Ⅲ

バランス良く配置された九州の各都市の経済・生活機能が効率的かつ最大限に発揮できるよう、地域間連携に資するICT基盤や産学官民連携したデータ流通の促進および交通インフラの整備に取り組む。

- 具体的活動
- 28 データ駆動型社会の基盤整備
 - 29 域内港湾の一括管理による運営効率化
 - 30 九州一体となった空港施策の実現を可能にするためのプラットフォームの設置と国際金融都市に相応しい国際路線の充実
 - 31 高規格幹線道路網の整備促進と下関北九州道路の事業化

課題
9



分散型社会の一翼を担う自立型広域経済圏モデルの構築

Ⅲ

人口減少、高齢化が加速している中でも地域経済・コミュニティを維持できるよう、強みである広域連携力を活かして、9県が自立しつつも一体となって地域活性化に取り組む連携モデルを構築する。

- 具体的活動
- 32 分散型社会の実現に不可欠な広域行政の枠組み構築
 - 33 各地域の強みを活かした多様なビジネス環境の整備

課題
10



安心安全を確保する防災レジリエンス・バックアップ機能強化

Ⅲ

異常気象や巨大地震発生などのリスクが年々高まる中、住民が安心して生活できるよう防災レジリエンス(予測力・予防力・対応力)を高めるとともに、首都圏での災害発生時のバックアップ機能構築にも取り組む。

- 具体的活動
- 34 強靱な防災・減災・感染症対策機能を有する地域の実現と国家バックアップ機能の構築(住民の安心・安全)
 - 35 デジタルガバメントモデル構築